



# えんじゅ

春日市立春日小学校

校長室便り No.11

令和元年 11 月 5 日

文責：校長 福島

## 平和への第一歩は




修学旅行に行ってきました。

長崎を目的地にしているのは、原爆の被害を通して平和について考えるためです。

写真は、原爆落下中心地で行った平和集会の様子です。みんなで空を見上げました。そこには真っ青な空がありました。視線を落とすと、隣には仲間がいます。

当たり前前のことが当たり前前にできることがどれだけ幸せなことか、この地だから感じられることがあったと思います。子ども達の真剣な態度や一生懸命歌う美しい歌声に、多くの外国人観光客の方々も足を止め、集会の様子を見守ってくれました。私は校長として誇らしく思うと同時に、世界で唯一の被爆国としての平和教育を充実させる責任を感じました。

「平和な世の中をつくる第一歩は、隣の友達を笑顔にすることです。」私は子ども達にそう伝えてきました。

2日間の旅行を終えた子ども達にこんな話をしました。「君たちの学年テーマは“オンリーワン”  
 これはジグソーパズルのピースです。オンリーワンだから価値があります。君達もみんな違うから価値がある。友達を笑顔にすることというのは、つながることです。みんなちがうからつながる価値がある。つながるのは簡単なことではありません。この修学旅行がつながるきっかけになってほしいです。卒業に向けて、 $25 \times 4 = 100$ のワンチームを作っていくてください。」

ホームページに修学旅行の様子を up しています。